

危機管理対策本部知事あいさつ

○昨年末より、中国武漢市を中心に発生している新型コロナウイルス感染症は、2月3日午前で、中国の全土で1万7千人以上の感染者と361人の死亡者数が報告されています。

国内でもすでに20人の感染者が確認されており、沖縄県内においてもいつ感染者が確認されてもおかしくない状況にあります。

○このため、県では1月29日に関係部署を集めた沖縄県健康危機管理対策本部、並びに新型コロナウイルス対策緊急専門家会議、30日に沖縄県危機管理連絡会議を開き対策について協議してきました。

また、先週31日には定例記者会見において県民の皆様に対し、人が集まる場所はなるべく避けることやマスクの着用、手洗いや咳エチケット、アルコール消毒のお願いと、37度5分以上の発熱と咳などの症状があり、発症から2週間以内に中国の武漢市への渡航歴がある方、あるいは、発症から2週間以内に「武漢市への渡航歴があり発熱と咳など症状がある人」と接触した方は、お近くの保健所等へお電話で相談するようメッセージを出したところです。

○万が一、沖縄県内で感染者が確認された場合は、県民の健康や県民生活そして観光産業を含む県内経済に大きな影響を及ぼすことから関係各部署が情報を共有し、密接に連携しながら、県民への感染防止の啓発活動や正確な情報提供が必要となってきます。

○そのため、緊急ですが今回関係部局を集めての沖縄県危機管理対策本部を開催することといたしました。

保健医療部を中心に感染者が確認された場合の医療提供体制を講じますが、各部局におかれましても必要な対策を検討し、実施してください。